

# クラゲを避けて泳ごう プログラミングしよう!

パソコン  
持込不要

推奨は小学校  
3年生以上

参加費  
無料

事前  
予約

初心者向け

～ 2019年8月 実施レポート ～

沖縄女子短期大学

産学連携推進室 比嘉勇太

# 概要

クラゲを避けて泳ごうをプログラミングしよう！

期 間：8月10日（土）、8月17日（土）、8月24日（土）  
定 員：20名  
対 象：与那原・西原町プログラミングサマースクールの未応募児童、  
その他市町村の児童、児童の保護者  
会 場：沖縄女子短期大学 6F パソコン教室  
主 催：沖縄女子短期大学 産学連携推進室  
後 援：与那原町教育委員会・西原町教育委員会  
事務局：沖縄女子短期大学 産学連携推進室

## 体験講座の構成

プログラミング学習ツールである「スクラッチ」を活用したゲームプログラミングを学習し、作品作りに関する「キャラクター制作」、「ゲームシナリオ」等のオリジナルゲーム制作することで、「知識及び技能の習得」・「思考力、判断力、表現力等の育成」を身につけることができることを児童とその保護者に体験してもらうことを目的とする。1回の講座で完結するプログラムの構成とし、保護者のみを対象としたITに関する就業・職業セミナーも同時開催する。

# クラゲを避けて泳ごう をプログラミングしよう！

パソコン  
持込不要

推奨は小学校  
3年生以上

参加費  
無料

事前  
予約

初心者向け

「クラゲを避けて泳ごう」は「ドラゴンから逃げる」の夏バージョンです。初めての人は、プログラミングに触れるきっかけに、慣れている人は、クラゲを増やしたりしてアレンジを楽しめます。

お申込みフォーム



<https://bit.ly/2G4T13p>

※必ずQRコードからお申込みください！

同時開催！

お母さんと  
お父さんの為の  
IT講座

お子様がプログラミングを体験している間に30分ほど講座を行います。知っているようで知らないITの世界。ITが何をもちたらしこの先社会をどう変えていくのか。お子様の将来にもつながる職業教育に関する講座です。

日程	8/10(土)、17(土)、24(土)
時間	12:00 ~ 13:30
定員	20名
場所	沖縄女子短期大学 6F 〒901-1304 沖縄県島尻郡与那原町東浜1

イベントの流れ



ご注意

全ての日程で同じゲームを作りますので、複数の日程をお選び頂く必要はございません。以前、お受けになられた方でもご参加いただけます。お申込み時にメールアドレスをご記入頂き、弊社ウェブサイトのアカウントを開設させていただきます。(イベント時利用) 全て事前予約が必要です。原則、親子でのご参加となります。駐車場は学生駐車場をご利用頂けます。小学3年生以上が推奨ですが、保護者様のサポートで2年生以下でもご参加頂けます。定員になり次第募集を終了いたします。すぐに満席になる恐れがありますので、お早めにお申し込みください。

お問合せ | HP: <https://tsukurukids.com>  
E-mail: [y.omori@tsukurukids.com](mailto:y.omori@tsukurukids.com) (担当 大森)

主催：沖縄女子短期大学産学連携推進室・一般社団法人ツクル  
後援：与那原町教育委員会・西原町教育委員会

# 動画教材を活用した学習プログラム

沖縄女子短期大学は、2020年度より小学校教育で開始される文部科学省学習指導要領改訂におけるプログラミング教育の円滑な実施に向けて、2016年度より企業との共同研究として実施している。

2018年度からは、動画教材の開発とそれを活用した指導方法・学習プログラムの実践を行っている。本講座でも、動画教材を活用し、一定水準の指導レベルを確保しつつ、講師・メンター等の負担を軽減し、学習者の主体的なプログラミング学習プログラムを児童と保護者に実践した。

## 学習プログラムのポイント



# 実施実績

参加児童・保護者 合計 144名



## 8月10日(土) 体験講座

- ・ 申込児童 33名
- ・ 参加児童 25名
- ・ 参加保護者 25名



## 8月17日(土) 体験講座

- ・ 申込児童 40名
- ・ 参加児童 27名
- ・ 参加保護者 27名



## 8月24日(土) 体験講座

- ・ 申込児童 42名
- ・ 参加児童 20名
- ・ 参加保護者 20名



# 保護者セミナー（体験講座と同時開催）

8月10日・17日・24日(同時開催プログラム)

参加保護者 72名

保護者セミナーを通じて、現代社会が「グローバル化」・「情報化(IoT)」・「技術革新(AI)」など、急速に大きな変化を遂げている中で、文部科学省の「学習指導要領 改訂」及び「教育の情報化」等の指針により、児童への教育についても変革が求められていることを理解し、次世代の職業・就業に関する資質を保護者が認識を深め、児童を支援することを目標として実施。

2030年代・2040年代に向けた国の施策、大企業のビジョン等を例にあげ、今の小学生年代が社会人として働く環境と備えなければならないスキルについて説明を行った。

保護者の情報リテラシーが児童の将来に大きく影響する旨についても啓発を試みた。



# 指導スタッフ（メンター）

参加者 17名（各日程 5名～7名）

小学校教諭を目指す沖縄女子短期大学 児童教育学科の学生を中心に指導スタッフ（メンター）の募集を実施。17名の学生より、参加希望があり、本講座および平日の与那原・西原町立小学校児童を対象としたプログラミングサマースクールに向けた2日間の研修会を行なった。

研修会では、メンターが児童に対するゲームプログラミングの指導に留まらず、児童が「知識及び技能の習得」・「思考力、判断力、表現力等の育成」を身につけ、どのように学び、何ができるようになるのかという観点の元、IT・情報教育における意義を理解し、指導することを目標設定を設けた。

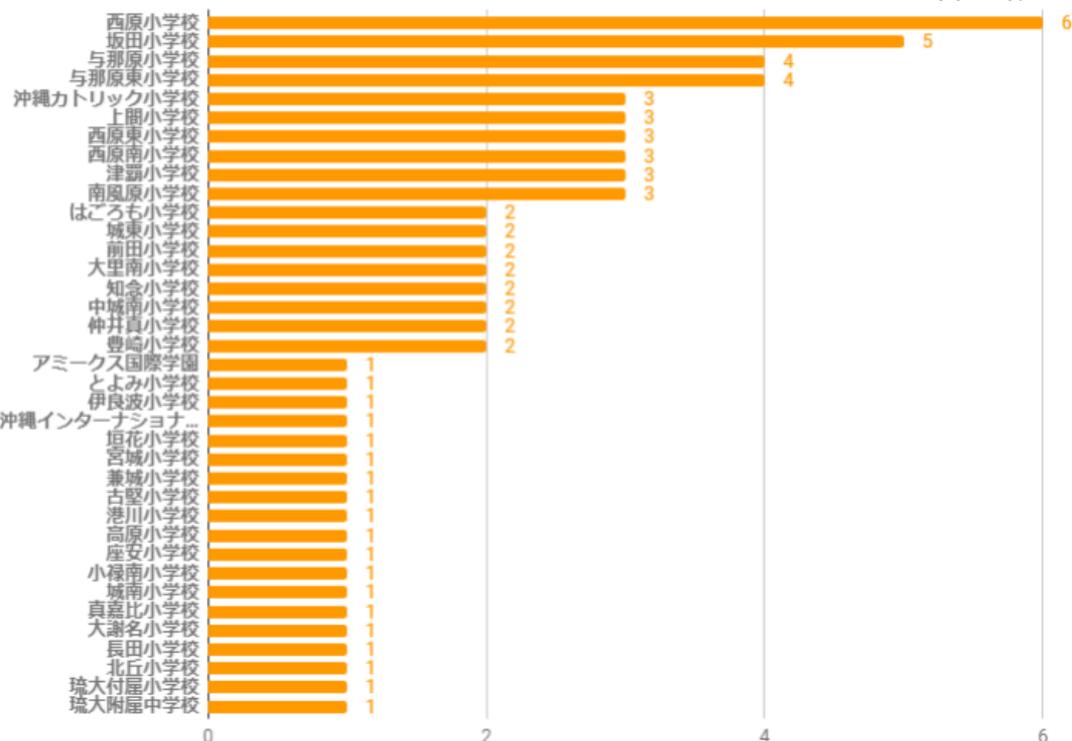
本講座の運営に際して、1回あたり5名～7名程度のメンターが参加し、講座終了後は、メンターとしての目標達成について適宜確認を行った。



# 参加児童の分布（合計 72名）

## 所属小学校等の内訳

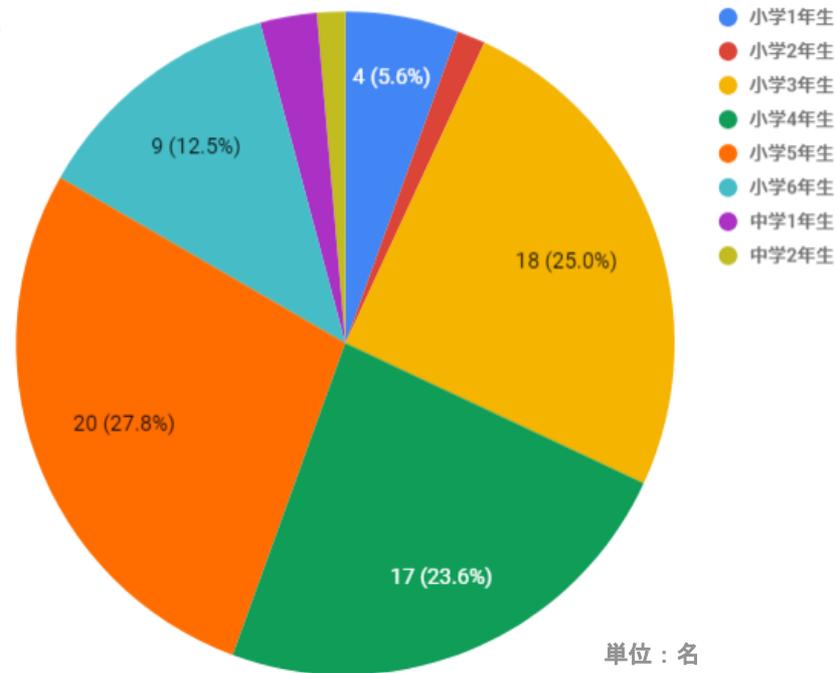
単位：名



※与那原町立小学校 8名

西原町立小学校 17名

## 学年の内訳

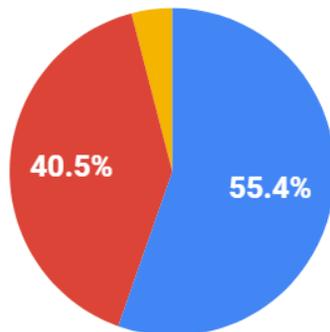


単位：名

# 保護者の声

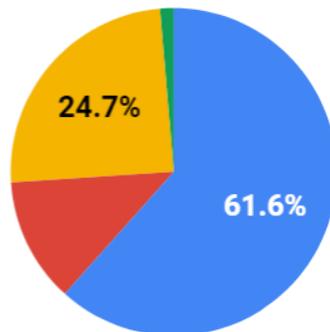
体験講座は楽しかったですか？

- 超楽しかった！！
- 楽しかった！
- 普通



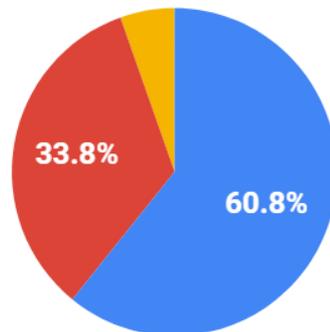
体験講座をもっとやりたいですか？

- もっとやりたい
- ふつう
- 機会があればやりたい
- やりたくない



保護者向けセミナーは、いかがでしたか？

- すごくよかった
- よかった
- ふつう



## 保護者 Aさん

プログラミング体験講座を開催して頂きありがとうございました。知識を広げるきっかけになったと思います。

## 保護者 Bさん

保護者セミナーの内容は興味深かったです。また聞きたいです。機会があれば、また子供にプログラミング講座を受講させたいと思います。



## 保護者 Cさん

プログラミング初体験でしたが、大変楽しく受講することができたようです。またの機会があればうれしいです。

## 本取組に関するお問合せ 等



### 【研究者】

- ・ 新垣 さき（児童教育学科）



### 【産学連携推進室】

- ・ 比嘉 勇太（産学連携コーディネーター）

### 【連絡先】

TEL : 098 - 882 - 9001

MAIL : [sangaku@owjc.ac.jp](mailto:sangaku@owjc.ac.jp)

H P : <https://www.owjc.ac.jp/sangaku>